

平成 30 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

|  |  |             |                    |               |              |          |
|--|--|-------------|--------------------|---------------|--------------|----------|
| 会計   | 款  | 項           | 目                  | 事業コード         | 事業名          |          |
| 一般   | 02   | 01          | 17                 | 124700        | 情報通信基盤導入支援事業 |          |
| 総合計画                                       | 重点戦略   | 防災力の強化      |                    |               |              |          |
|  | 分野   | 暮らし         |                    |               |              |          |
|  | 政策   | 2-2         | 生活基盤の充実            |               |              |          |
|  | 施策   | 7           | 情報通信環境の充実          |               |              |          |
| 目的   | 地域情報基盤の確保  |             |                    |               |              |          |
| 対象   | 市民   |             |                    |               |              |          |
| 意図   | 高度化するICT(Information and Communication Technology) や情報端末への対応 |             |                    |               |              |          |
| 事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること              |  |             |                    |               |              |          |
| ○情報通信基盤導入支援 モバイルWi-Fiルーターの導入経費への補助 3,000千円 |  |             |                    |               |              |          |
| 市民参画の有無 【 対象外 】                            |  |             |                    |               |              |          |
| 市民協働の形態                                    |  | 共催<br>後援・協賛 | 実行委員会・協議会<br>補助・助成 | 事業協力・協定<br>委託 |              |          |
| 活動指標（上記「事業概要」に対応）                          |  | 単位          | 区分                 | 29年度(実績)      | 30年度(実績)     | 31年度(計画) |
| ①  | 光通信サービス未整備地域におけるモバイルWi-Fiルーター導入世帯                            | 世帯          | 計画                 |               | 200          |          |
|  |  |             | 実績                 |               | 5            |          |
| ②  |  |             | 計画                 |               |              |          |
|  |  |             | 実績                 |               |              |          |
| ③  |  |             | 計画                 |               |              |          |
|  |  |             | 実績                 |               |              |          |
| 成果指標（上記「意図」に対応）                            |  | 単位          | 区分                 | 29年度(実績)      | 30年度(実績)     | 31年度(計画) |
| ①  | 光通信サービス未整備地域におけるモバイルWi-Fiルーター導入世帯                            | 世帯          | 目標                 |               | 200          |          |
|  |  |             | 実績                 |               | 5            |          |
| ②  |  |             | 目標                 |               |              |          |
|  |  |             | 実績                 |               |              |          |
| ③  |  |             | 目標                 |               |              |          |
|  |  |             | 実績                 |               |              |          |
| 成果指標の達成度                                   | 目標値より高い  |             | 概ね目標値どおり           |               | ○ 目標値より低い    |          |

|   |   |
|---|---|
| 成果指標の達成度の要因分析<br>(新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)  |   |
| 同制度の対象となる地域への周知を図るため、広報はなまきやコミュニティ会議が発行する会報を活用するほか、地域単位での説明会などを実施する。  |   |
| 目的妥当性   | 公共関与の妥当性<br><input type="radio"/> 妥当である<br><input type="radio"/> 見直し余地がある<br><input type="radio"/> 妥当でない                    |
|   | 通信事業者による整備が期待できない地域であるため、行政が補完する必要がある。  |
|   |   |
| 有効性   | 成果の向上余地<br><input type="radio"/> 向上余地がある<br><input type="radio"/> 向上余地がない   |
|   | 広報はなまきなどを活用し同制度の周知を図るほか、地域単位での説明会を実施する。   |
|   |   |
| 効率性   | 事業費・人件費の削減余地<br><input type="radio"/> 事業費の削減余地がある<br><input type="radio"/> 人件費の削減余地がある<br><input type="radio"/> どちらも削減余地がない |
|   | 必要最小限の支援であるため、削減の余地はない。   |
|   |   |
| 公平性   | 受益と負担の適正化余地<br><input type="radio"/> 受益機会の見直し余地がある<br><input type="radio"/> 費用負担の見直し余地がある<br><input type="radio"/> 適正である    |
|   | モバイルWi-Fiルーターの導入部分に対する支援であり、使用料は受益者が負担することから適正である。  |
|   |   |
| 総合評価 …上記評価結果の総括   |   |
| 同制度は、インターネット接続環境を改善するため、民間事業者が提供する光ブロードバンドサービスの未提供地域に同サービスが提供されるまでの期間を補完するために実施しているところである。平成30年度においては、広報はなまきや同制度の対象地域となるコミュニティ会議が発行する会報での周知や一部の地域において説明会を実施したが、同制度創設初年度で制度自体が十分に認知されていない状況もあり、計画を下回る実績となった。 |   |

平成 30 年度 事業説明資料 【 事後評価 】 新規事業

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

| 会計 | 款 | 項 | 目  | 事業コード  | 事業名          |
|----|---|---|----|--------|--------------|
| 一般 | 2 | 1 | 17 | 124700 | 情報通信基盤導入支援事業 |

単位：千円

|                  |      | 29年度<br>決算額(A) | 30年度<br>決算額(B) | 31年度<br>現計予算額 | 決算額前年比<br>(B-A) |
|------------------|------|----------------|----------------|---------------|-----------------|
| 事業費              |      |                | 75             |               | 75              |
| 財<br>源<br>内<br>訳 | 国・県  |                |                |               |                 |
|                  | 地方債  |                |                |               |                 |
|                  | その他  |                |                |               |                 |
|                  | 一般財源 |                | 75             |               | 75              |

※特定財源の内訳

|  |
|--|
|  |
|--|

|      |                             |      |                 |
|------|-----------------------------|------|-----------------|
| 事業期間 | <input type="radio"/> 単年度繰返 | 期間限定 | [平成 年度 ~ 平成 年度] |
|------|-----------------------------|------|-----------------|

部重点施策における目標  
情報通信サービスの利用環境整備

事業開始の背景・経緯  
市の光ブロードバンドサービスの接続可能世帯数は平成27年度末で96%の状況。市では全世帯が接続できる環境を目指し、光ブロードバンドサービスを提供する通信事業者に対し整備要望等の活動を行ってきたところであるが、採算性の面から通信事業者による整備が見込むことが困難な状況となっている。

事業概要 …目的を実現するための事業手法を記載すること  
光通信環境に変わり無線通信環境の整備について検討を進めている。

- ～検討段階で想定された整備手法～
- ◆ 1 通信事業者が行う光ブロードバンドサービスの整備を引き続き要望
  - ◆ 2 自治体が光通信網を整備し通信事業者に貸与。通信事業者が貸与された通信網を用いてインターネットサービスを提供
  - ◆ 3 無線通信環境を整備

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

- 内川目、外川目、田瀬地区にあっては、区長説明を行い、現在アンケートを行った。
- 中内、谷内地区にあっては、区長説明を行ったが、アンケート調査は断念。

担当部署 部名 総合政策部 課名 秘書政策課 瀬川 寿和 内線 444

(単位：千円)

【事業手法の詳細】…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

1 光ブロードバンドサービス未提供・部分提供地域

●光ブロードバンド一部提供地域

| 地区名  | 世帯数  |
|------|------|
| 花巻   | 2    |
| 湯口   | 1    |
| 大沢温泉 | 7    |
| 笹間   | 28   |
| 石鳥谷  | 19   |
| 東和   | 1    |
| 谷内   | 11   |
| 合計   | 69 A |

●光ブロードバンド未提供地域

| 地区名 | 世帯数     |
|-----|---------|
| 内川目 | 359     |
| 外川目 | 162     |
| 東和  | 729     |
| 谷内  | 343     |
| 田瀬  | 205     |
| 合計  | 1,798 B |

※1 地区名はNTTのエリアであること

※2 数値はNTT回線数から未加入世帯算出しているもの

対象世帯合計  
A + B 1,867

2 補助金制度について

同補助金は、光ブロードバンドサービス未提供地域を対象に、インターネット接続環境の向上を図ることを目的として実施するものであり、早期に地域の情報基盤の整備を行う必要があることから、3年間を限度として、モバイルWi-Fiルーターの導入に財政支援を行う。

3 補助金交付額の試算

① 交付単価 ※docomoのモバイルWi-Fiルーター使用料を用いて試算  

$$\begin{matrix} \text{月額} & \times & \text{月数} & = & \text{年額} \\ 1,200 & \times & 12 & = & 14,400 \end{matrix}$$
 >>交付対象月数を1年とした場合

② 交付対象世帯数  
 A 対象世帯数  $\times$  加入率見込み = 交付見込世帯数  

$$1,867 \times 15.00 = 280$$
 A

※加入率見込み  
内川目、外川目、田瀬アンケート結果回答422世帯のうち55世帯が無線通信 13.03%

B 対象世帯数  $\times$  加入率見込み = 交付見込世帯数  

$$1,587 \times 20 = 317$$
 B

※加入率見込み  
H28 光ブロードサービスの提供が開始された小山田地区の加入率 17.1%  
(Bの対象世帯は、対象世帯合計 1,867から交付見込世帯数A 280を差し引いた世帯数)

A + B = 597

③ 補助金交付額  

$$\begin{matrix} \text{交付単価} & \times & \text{交付見込世帯数} & = & \text{補助金交付総額} \\ 15,000 & \times & 597 & = & 8,955,000 \end{matrix}$$
 >> 

|         |        |           |
|---------|--------|-----------|
| うちH30年度 | 200 世帯 | 3,000,000 |
|---------|--------|-----------|